



医療法人 伯鳳会



東京曳舟病院

病院案内

TOKYO HIKIFUNE HOSPITAL



1. 質の高い地域救急医療センター

東京都指定二次救急医療機関として、24時間365日体制で質の高い救急医療を提供します。

2. 経験を活かせる災害拠点病院

東京都指定の災害拠点病院として、災害医療分野において、東京DMAT、AMAT、東京JMATの隊員を擁し、日本国内で発生した種々の災害に対して、医療救護活動を展開します。

3. 都東部地域に適応した地域密着医療

グループの老人保健施設・訪問看護ステーションなどはもとより、地元医師会・開業医の先生方とも更に連携を強め、地域密着型の医療を展開します。



医療法人伯鳳会
理事長 古城資久

東京曳舟病院は、戦前より白鬚橋病院として長い歴史を有する病院ですが、2017年に東武鉄道曳舟駅横に移転しました。従来より力を入れていた救急医療、災害医療に加え、循環器科、整形外科、脳神経外科などの専門的な急性期医療にもより一層の充実を図っております。

それ以外にも透析医療、特に夜間透析にも力を入れており、皆様の身近な急性期病院としてなお一層の機能向上に努めています。

関連施設としては、介護老人保健施設ベレール向島、訪問看護ステーションしらひげ、看護小規模多機能事務所ライフサポートナース向島、地域包括支援センターなどを有し、高齢化社会に対しての備えを勧めております。

どうぞ今後の東京曳舟病院にご期待くださいませ。



東京曳舟病院
病院長 西田 修

このたび、2025年4月1日付をもちまして、東京曳舟病院の病院長に就任いたしました。これまで、藤田医科大学での教授職・副院長職および日本集中治療医学会の理事長としての経験を積み重ね、医療の質の向上と地域医療の発展に取り組んでまいりました。これらの経験を活かし、地域に密着した医療の提供をさらに強化してまいります。

墨田区・城東エリアは、高齢化の進行と多様な医療ニーズを抱える地域です。当院は、救急医療の領域において、救急車の受け入れ台数が多く、城東地域における急性期医療の最後の砦としての役割を果たしてきました。今後も、東京都指定二次救急医療機関および災害拠点病院として、24時間365日の安心・安全な医療体制を提供し、地域の皆様の命と健康を守り続けてまいります。また、予防医療の推進や在宅復帰支援、地域包括ケアの充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに貢献いたします。

山本院長が築かれた信頼と実績を引き継ぎつつ、新しい時代の医療ニーズに応える病院を目指してまいります。地域の皆様や医療従事者の皆様との連携を大切にし、より良い医療環境を築いていく所存です。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



内科

呼吸器内科／透析センター（腎臓内科）
神経内科／下肢血管科／循環器科

外科

消化器外科／脳神経外科／整形外科
乳腺外科／形成外科

救急総合診療科

泌尿器科／耳鼻咽喉科
皮膚科／麻酔科

医師、看護師をはじめとする各科、各部署のスタッフは、患者様に円滑な診察、治療、検査、サポートを行えるよう、常日頃より、密接な連携を心掛けております。

救急科

地域救急医療センターとして24時間365日、救急搬送患者の受け入れをしております。

救急科で初期診療を行い、診断がつき各専門科での治療が必要と判断した場合はそれぞれの診療科にバトンタッチして入院・治療となります。

複数の病気や異常がある場合や、まずは全身状態の改善が優先される場合などは救急科で入院し、全身を総合的に管理・検査して必要に応じて各診療科に移ります。

様々な病態に対して各診療科と協力し合い、柔軟に対応しながら診療しております。



災害医療支援

東京DMAT・日本DMAT・JMAT・AMATの指定病院として多くの

隊員を要し、国内で発生した大災害に対して発災時から救命率の極端に下がる発災後72時間以内には、現地にチームを派遣し、機動性、専門性を生かした

多岐にわたる医療的支援を行っております。災害発生時に迅速・適切に対応

できるように、日頃から災害チームとしての質の向上に努めておりま

主な災害医療活動

- 1995年 阪神淡路大震災
- 1999年 東海村臨界事故
- 2004年 東京DMAT発足
- 2006年 新潟中越沖地震
- 2007年 能登半島地震
- 2008年 岩手・宮城内陸地震
- 2008年 秋葉原通り魔事件
- 2011年 東日本大震災
- 2015年 東日本豪雨・常総水害
- 2016年 熊本地震
- 2018年 西日本豪雨
- 2019年 台風15号房総半島災害
- 2019年 台風19号世田谷記念病院
- 2020年 COVID-19関連（チャーターフライト・DP号）
- 2024年 能登半島地震

都内有数の救急車受入台数と被災地支援実績を持つ救急科

呼吸器内科

人口の高齢化による加齢的変化や喫煙など生活習慣により呼吸器疾患は重要な診療領域となってきています。当診療科では救急科をはじめ他の診療科と緊密な連携をはかりつつ呼吸器専門医2人体制で、適切かつ高度な医療を提供できるよう心がけています。咳・痰、血痰、息切れなど症状のある方、健康診断で胸部異常影を指摘された方などどうぞ遠慮なく受診あるいはご紹介して頂きたいと思います。

主な取り扱い疾患

気管支炎、肺炎、肺化膿症、胸膜炎、膿胸、肺結核症、非結核性抗酸菌症、気管支喘息、好酸球性肺炎、過敏性肺炎、サルコイドーシス、慢性閉塞性肺疾患(肺気腫)、特発性肺線維症
慢性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、原発性肺癌、縦隔腫瘍



透析センター（腎臓内科）

東京都指定二次救急病院として24時間体制で各種血液浄化療法に対応しております。病院内診療の一部門として透析を行っているため、入院体制も整っており他科と連携し全身的な管理を行うことができ、患者様に安心安全かつ包括的な医療を提供できます。

透析センターでは、日中におきましては、通院困難な患者様に対して自宅から病院までの無料送迎があり。車椅子での通院も可能になっております。



泌尿器科

尿路・性器・内分泌臓器の病気の診断・治療・化学療法
緩和医療・手術・尿路ストーマの管理・救急医療に係わる
幅広い泌尿器科関連の診療を行なっております。

主な取り扱い疾患

尿路疾患：尿路性器悪性腫瘍
(前立腺がん・膀胱がん・腎臓がん・精巣がん など)
結石 (腎結石・尿管結石・膀胱結石)
炎症 (膀胱炎・腎孟腎炎・尿道炎・前立腺炎)
梅毒・尿道炎・クラミジア尿道炎・性器ヘルペス・陰嚢水腫
前立腺肥大症・包茎・男性更年期障害・ED (勃起機能障害)
尿閉・尿管結石症・急性陰嚢症・腎外傷・陰茎折傷



循環器科

緊急治療を要する急性心筋梗塞や不安定狭心症に対する
心臓カテーテル検査/治療、うっ血性心不全の急性期治療を
積極的に対応致します。

「24時間365日緊急心臓カテーテル対応」

夜間・休日問わず急性心筋梗塞や不安定狭心症に対する
緊急心臓カテーテルに対応。

「より低侵襲で質の高い治療とチーム医療」

当院では治療の難易度に関わらず、可能な限り橈骨動脈から
カテーテル検査及び治療を行なっており、大腿動脈からの
治療と比較して成績が劣ることのない、質の高い治療を提供。

「地域医療の活性化」

定期的な医療講演や医療連携に注力。



外科・消化器外科

消化器疾患（癌などの悪性疾患や良性疾患）、一般外科疾患の診断、治療および、急性腹症などの緊急手術を腹腔鏡手術も含めて検討し、適切な加療を行います。また外科系疾患だけではなく、腹痛、下痢、嘔吐などの一般消化器疾患にも対応致します。

癌に関しては、初期診断のもと、必要に応じて高次医療機関や癌専門病院への紹介も可能です。また、癌の終末期医療に関しても、在宅医療を含めたご相談も可能です。

主な取り扱い疾患

消化器悪性腫瘍全般、胆石症、鼠経ヘルニア、肛門疾患、急性腹症（虫垂炎、腸閉塞など）



脳神経外科

急性期脳卒中診療を中心に脳神経外科の疾患に対応しております。都内でも数少ない日本脳神経外傷と日本神経内視鏡の訓練施設です。さらに24時間365日脳血管内治療を施行可能です。

主な取り扱い疾患

頭蓋内脳血管疾患（脳動脈瘤・脳動静脈奇形・硬膜動静脈ろう・脳血管狭窄・脳塞栓症など）
頭蓋外脳血管疾患（頸動脈狭窄・椎骨動脈狭窄・鎖骨下動脈狭窄など）
脊髄疾患（脊髄血管奇形・頸椎症など）
頭部外傷（慢性硬膜下血腫など）
脳腫瘍



整形外科

整形外科では骨、関節、靭帯、筋肉、脊椎の外傷や疾患の治療を行います。整形外科疾患一般（悪性腫瘍を除く）に幅広く対応しております。変形性関節症などの慢性疾患に対しては、保存治療から手術治療（人工関節置換術）も可能です。

主な取り扱い疾患

整形外科一般：悪性腫瘍を除く外傷・疾患全般
骨折脱臼など：四肢の外傷を中心に治療しております
慢性疾患：変形性膝関節症、変形性股関節症など

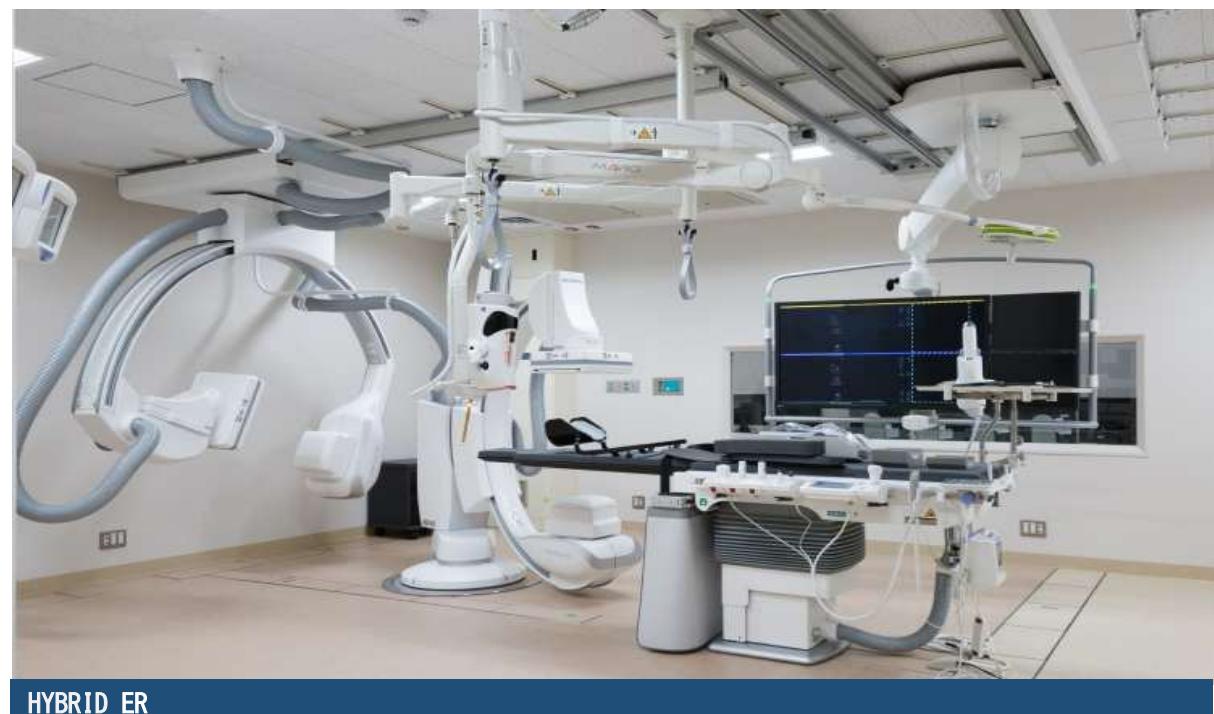




血管造影室



シーメンスヘルスケア（株）
と
医療法人伯鳳会グループは、
東京曳舟病院における
救急災害医療の強化を目的と
したパートナーシップ契約を
結んでおります。



HYBRID ER



MRI室



CT室



内視鏡室



総合待受



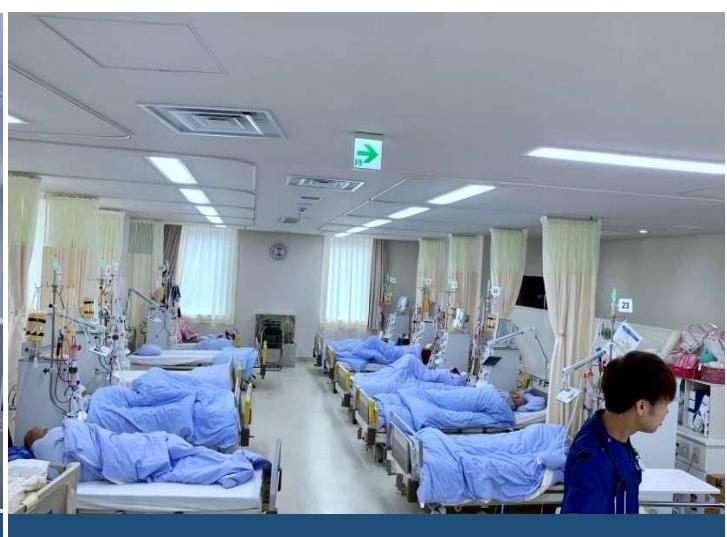
外来ブース



病棟ナースステーション



ICU



透析センター

病院目標 365日24時間安心安全な医療を提供致します

施設・学会認定

厚生労働省 臨床研修指定病院
 東京都指定 災害拠点病院
 東京都指定 地域救急医療センター
 東京都指定 二次救急医療機関
 東京都指定 東京 DMAT 指定病院
 東京都指定 脳卒中急性期医療機関
 東京消防庁 救急相談センター協力医療機関
 東京消防庁 救急救命士実習指定施設
 東京消防庁 救急救命士再教育実施医療機関指定
 National Clinical Database 登録参加施設

日本外科学会
 日本消化器外科学会
 日本消化管学会
 日本救急医学会
 日本麻酔科学会
 日本心臓血管インターベンション治療学会
 日本集中医療医学会

外科専門医制度修練施設
 専門医制度指定修練施設
 胃腸科指導施設
 専門医指定施設
 認定病院
 研修関連施設
 専門医研修施設

施設基準

総病床数：200床
 急性期一般入院料 2
 特定集中治療室管理料 5
 在宅療養後方支援病院
 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
 心大血管疾患リハビリテーション料（I）
 運動器リハビリテーション料（I）
 呼吸器リハビリテーション料（I）
 がん患者リハビリテーション料（I）
 がん性疼痛緩和指導管理料
 地域連携夜間・休日診療料
 院内トリアージ実施料
 薬剤管理指導料
 病棟薬剤業務実施加算 1 2
 在宅患者訪問褥瘡管理指導料
 検体検査管理加算（I）（II）
 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
 CT撮影及びMRI撮影
 無菌製剤処理料
 入院時食事療養（I）
 ベースメーカー移植及びベースメーカー交換術
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
 胃瘻造設術
 輸血管理料（I）
 輸血適正使用加算
 麻酔管理料（I）
 酸素の購入価格に関する届出書
 外来化学療法加算 2
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 排尿自立指導料
 地域医療体制確保加算
 感染防止対策加算 1
 医療安全対策加算 1
 医療機器安全管理料 1
 総合評価加算
 栄養サポートチーム加算
 呼吸ケアチーム加算
 診療録管理体制加算 1
 医師事務作業補助体制加算 1
 急性期看護補助体制加算
 データ提出加算
 認知症ケア加算
 療養環境加算
 後発医薬品使用体制加算 2
 患者サポート体制充実加算
 保険医療機関間の連携による病理診断
 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
 人工腎臓導入期加算
 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
 入退院支援加算
 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算
 CT透視下気管支鏡検査加算
 脳波検査判断料 1
 救急患者連携搬送料

| | | |
|-----------------|----|-------------------------|
| リハビリテーション 栄養 | 7F | フロアマップ |
| 6A病棟（29床） | 6F | |
| 5A病棟（42床） | 5F | 5B病棟（29床） |
| 4A病棟（42床） | 4F | 4B病棟（40床） |
| 手術/ICU（6床） | 3F | 透析センター（24床） |
| 放射線/内視鏡/化学療法 | 2F | 地域救急医療センター 救急病棟（12床） |
| 薬局/総合案内 | 1F | 外来/生理検査 |

診療時間

月曜～土曜 AM 9:00 ~ 13:00 PM 14:00 ~ 18:00

日曜/祝日 休診 ※救急外来は24時間随時受付

面会時間

月曜～土曜 15:00～18:00 日曜/祝日 12:00～18:00

医療連携室

医療連携室では、患者様やご家族のお困りの諸問題をお聞きしあう力になれるよう、医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場から対応しております。お気軽にご相談下さい。

直通TEL: 03-5655-1124

アクセスマップ



アクセス

電車をご利用の場合

東武スカイツリーライン曳舟駅直結
 京成電鉄 京成曳舟駅 徒歩 6 分

バスをご利用の場合

都バス：錦40 錦糸町⇒南千住
 「墨田区曳舟文化センター前」から徒歩 3 分
 京成バス：墨田区循環バス 北西部ルート
 「曳舟文化センター」から徒歩 3 分

お車をご利用の場合

近隣のコインパーキングをご利用下さい。



〒131-0032 東京都墨田区東向島二丁目27-1

TEL: 0570-05-1199

<http://tokyo-hikifune-hp.jp/>

